

アンケート調査の結果について

1. アンケート調査の実施概要

人口ビジョン改訂及び次期総合戦略に反映させるため、令和6年3月に下記の4つのアンケート調査を実施した。

(1) 一般アンケート

結婚・出産・子育て・就労に関する調査

【対象】18歳～69歳の市内在住の男女2,000人（無作為抽出）

【ポイント】

- ・性差による違いが地域社会や家庭内、勤務先で見られるかを幅広く尋ねた。
- ・コロナ禍による結婚や妊娠・出産への影響について尋ねた。

(2) 高校生アンケート

進路や結婚・出産・子育てに関する希望、現在住んでいる地域（能代市外含む）の印象等に関する調査

【対象】市内にある高校の2年生（543人）

【ポイント】

- ・就職先（進路）の決定に家族の希望や意見が影響しているかを確認した。
- ・乳幼児と触れ合う経験が、自身の子育て希望につながるかを検証した。

(3) 転入者アンケート（過去3年間程度の転入者）

転入理由や本市での暮らしの満足度、地域社会の印象等に関する調査

【対象】能代市へ転入した18歳～69歳の男女300人（無作為抽出）

【ポイント】

- ・他の地域での居住経験から本市との比較をしていただくため、単独アンケートとして実施することとした。（R1は、一般アンケートの一部として実施）

(4) 転出者アンケート（過去3年間程度の転出者）

転出理由や本市での暮らしの満足度、地域社会の印象等に関する調査

【対象】能代市から転出した18歳～39歳の女性300人（無作為抽出）

【ポイント】

- ・若年女性の転出割合が高く、回帰の割合も低いことから、若年女性に特化して実施し、より具体的に要因を探ることとした。

○その他の調査のポイント

- ・基本の対象年齢を18歳～69歳とした。
（若年層の意見をより多く聴取したいため。R1調査：18歳～79歳）
- ・R1に実施した企業・事業所を対象とするアンケートは行わず、代わりに一般アンケートにおいて、雇用の現状や労働環境等を確認することとした。
- ・高校生以外の3つの調査で、本市の地域社会に対する印象を尋ね、傾向を見ることとした。

2. アンケート調査結果の概要

(1) 一般アンケート

①交通の利便性に対する不満が多い P 5

【問 6】・交通の利便性に対して「やや不満」、「不満」344 人/52.4%

②地域社会に関して「若い人が活躍できる雰囲気がある」に対し、否定的な回答が多い P 10

【問 7】・若い人が活躍できる雰囲気がある「あまり思わない」「思わない」

403 人/61.3%（全年代で否定的な回答が多い）

※問 7（1）から（4）の肯定的な回答の割合は 20 代以下の若い世代の方が 30 代以上の世代より高い

③結婚に対する意識の低下 P 13・15・16

【問 9】・結婚の予定がない方のうち、「あきらめた」「考えていない」割合が大幅に増加（今回調査 65.1% R1 調査 20%）

【問 11】・結婚の予定はないが、いずれはしたい方のうち、「何もしておらず希望の出会い方は特にない」32 人/29.6%

【問 12】・結婚をあきらめた、考えていないと答えた方の理由は、経済的理由のほか、個人の気持ちを尊重する傾向が強く見られる

・「一人のほうが気楽だから」が 56.4%で、男女ともに最多の理由

・経済的な理由は男性が 45.9%と多く、男女差が大きい

④結婚や出産に関するコロナ禍の影響が見られる P 19・25

【問 14】・結婚を延期した（した人を知っている）71 人/10.8%

・結婚を取りやめた方がいる 11 人/1.7%

【問 21】・妊娠、出産のタイミングを延期した（した人を知っている）10 人/3.0%

・妊娠、出産をあきらめた方がいる 5 人/1.5%

⑤希望する子どもの数の減少 P 20

【問 16】・「欲しくない」と回答した方の割合が大幅に増加

（今回調査 18.8% R1 調査 5%）

・「2 人」（48.7%）が 1 位 ※R1 調査では「3 人」（47%）が 1 位。

⑥希望よりも現実に持つ（予定）の子どもの数が下回っている方、欲しくない理由は、年代に関わらず経済的負担によるものが多い P 22・23

【問 17】・「子育てや教育の経済的負担が大きいから」73 人/46.8%

・「それまでの子育ての大変さからあきらめた」男性の回答がゼロ

【問 18】・「経済的負担が大きいから」30 人/47.6%

・男性の回答が 56.4%と多く、男女差が大きい

⑦育児の負担が母親へ偏っている P 2 3 ・ 2 4

【問 1 9】・「母親の負担が大きい」 165 人/49.3%

【問 2 0】・仕事の忙しさと、父母の考え方の違いを理由とする回答が多い

「仕事が忙しい」 92 人/53.8%

「父親と母親の子育てに対する考え方の違い」 51 人/29.8%

⑧パート、アルバイトは女性が多く、年代別では 2 0 代より 3 0 代が多い

P 2 6

【問 2 3】・パート、アルバイト 男女別 女性 94 人/34.8%

・パート、アルバイト 年代別 30 代 16 人/22.9% (20 代 4 人/7.0%)

⑨子育てや介護が理由で仕事についていないのは女性が多い P 2 7

【問 2 4】・子育てや介護のため 15 人/9.9% (うち女性 13 人)

⑩職場・労働環境に対し、2 0 代の満足度は 3 0 代以上の世代より高い P 2 8

【問 2 6】・(5) 仕事のやりがい 2 0 代 満足、やや満足 27 人/50.9%

・その他のいずれの項目の満足度も 30～40%台と、3 0 代以上より高い

⑪給与水準に対する不満が多い P 2 8

【問 2 6】・給与水準「やや不満」「不満」200 人/48.4%

・「勤務時間の長さ・時間帯」「休暇の取りやすさ」の満足度は男女差が大きく、
男性の満足度が低い (一方で不満は女性の方が高く、普通が少ない)

⑫職場に対するイメージは、2 0 代で肯定的な回答が多い P 3 2

【問 2 8】・(1) 新しいルールが取り入れられている 23 人/43.4%

・(2) 上司は部下の意見をよく聞いてくれる 33 人/62.3%

・(3) 社員の能力を伸ばすことに積極的 28 人/52.8%

・(4) 年齢や性別に関わらず力を発揮できる 27 人/50.9%

・(5) 職場の課題解決に積極的 28 人/52.8%

⑬人手不足等により産前産後休業・育児休業・産後パパ育休が取得しづらい

P 3 5

【問 3 0】・取得しづらい理由「人手不足だから」79 人/67.5%

⑭育児休業（休暇）制度の利用率が低く、特に男性の利用が少ない P 3 6

【問 3 1】・育児休業（休暇）制度の利用 「利用した」18 人/17.6%

⑮休暇の取りにくさにより子育てや介護と仕事が両立しづらい P 3 7

【問 3 3】・休暇の取りにくさ 68 人/51.9%

(2) 高校生アンケート

①女性の進学希望の割合が高い P 4 0

【問 3】・女性の進学予定者 161 人/71.9%

②高校卒業後に就職を希望している生徒は市内就職希望が多く、進学を希望している生徒は県外就職希望が多い P 4 3

【問 7】・高校卒業後、市内就職を考えている生徒 41 人/73.2%

・大学へ進学後、市外就職を考えている生徒数 95 人/69.3%

③就職する地域で市内・県内を選んだ理由は「地元貢献したいから」が最多 P 4 4

【問 8】・地元貢献したいから 61 人/37.2%

④就職する地域で県外を選んだ理由は「住んでみたい地域だから」が最多 P 4 5

【問 9】・住んでみたい地域だから 62 人/45.3%

・希望する就職先があるから 55 人/40.1%

・県外の方が給料が高いから 47 人/34.3%

⑤女性が希望する業種は、医療関係、公務員が多い

【問 1 1】・医療関係 54 人/24.1% 公務員 44 人/19.6%

⑥仕事や就職先の選択で重視する点は、給与水準の高さが最多 P 4 8

【問 1 2】・給与水準が高い 330 人/69.2%

・女性は「性別や年齢に関係なく活躍できる」「職場の雰囲気が良い」も男性より重視している

⑦現在住んでいる地域に住みたいと思わない理由は、「新しい環境を体験してみたい」が最多 P 5 1

【問 1 5】・新しい環境を体験してみたい 82 人/53.6%

・女性は「ほかに住んでみたい地域がある」「ここには就きたい仕事がない」「ここでは高い収入が得られない」が男性よりも多い

⑧能代市に住みたいと思ってもらうために必要なことでは「給与水準の向上」が最多 P 5 2

【問 1 6】・給与水準の向上 272 人/57.0%

・「商業施設やレジャー施設の充実」も同数

⑨高校生年代では結婚を希望する割合が高い P 5 3

【問 1 7】・将来、「結婚したい」297 人/62.3%

⑩結婚を希望しない人は結婚の必要性や結婚生活の大変さを考えている P 5 4

【問 1 9】・結婚する必要性を感じないから 24 人/44.4%

・結婚生活が大変そうだから 10 人/18.5%

⑪恋愛に興味・関心のない生徒は男性が「交際に興味、関心がないから」が多く、女性は「必要性を感じていない」生徒が多い P 5 5

【問 2 1】・「交際に興味・関心がないから」と答えた男性 19 人/45.2%

・「必要性を感じない」と答えた女性 16 人/59.3%

⑫結婚や恋愛、子育てに対して否定的な理由として、男性は経済的なことを理由とする生徒が女性より多い P 5 4～5 6

【問 1 9】・結婚したくない理由「経済的に大変そう」 5 人/19.2%（女性ゼロ）

【問 2 1】・恋愛に興味、関心があまりない理由「お金がかかるから」 12 人/28.6%

【問 2 3】・子どもは欲しくない理由「経済的に大変になるから」 17 人/48.6%

⑬中学・高校生で乳幼児と触れ合う機会がなかった生徒は、子どもを望まない傾向がある P 5 7

【問 2 4】・乳幼児とまったく触れ合う機会が全くない生徒で「子どもを欲しくない」生徒数 27 人/26.0%

（３）転入者アンケート

①転入理由は自分の仕事の都合が多く、次いで家族の介護や同居が多い

P 6 3

【問 1 1】・転入理由「自分の仕事の都合」 52 人/60.5%

②交通の利便性に対する不満が多い P 6 6

【問 1 2】・交通の利便性に対して「やや不満」、「不満」 50 人/58.2%

・出身者の方が不満が多い 出身者 77.2% 非出身者 46.0%

③「買い物の利便性」は、非出身者の方が満足度が高い P 6 7

【問 1 2】・買い物の利便性（満足・やや満足） 出身者 20.0% 非出身者 38.0%

④地域社会に関して「新しい考え方を積極的に取り入れている」「若い人が活躍できる雰囲気がある」に対し、否定的な回答が多い P 7 2

【問 1 5】・新しい考え方を積極的に取り入れる「あまり思わない」「思わない」 38 人/44.2%

・若い人が活躍できる雰囲気がある「あまり思わない」「思わない」 43 人/50.0%

(4) 転出者アンケート

①能代市出身者の居住していた時の職業は学生、生徒が多い P 7 6

【問 3】・居住していた時の職業「学生、生徒」24 人/64.9%

②能代市出身者の転出先として関東、秋田市が多い P 7 8

【問 7】・関東 13 人/35.1%（東京都 8 人/21.6%） ・秋田市 8 人/21.6%

③能代市出身者の転出理由は自分の仕事の都合や進学が多い P 7 9

【問 1 0】・自分の仕事の都合 14 人/37.8% ・自分の進学 10 人/27.0%

④能代市出身者の交通の利便性に対する不満が多い P 8 1・8 2

【問 1 1】・交通の利便性に対して「やや不満」、「不満」29 人/78.3%

⑤地域社会に対する否定的な回答は能代市出身者の方が多い P 8 6・8 7

【問 1 3】・新しい考え方を積極的に取り入れている

「あまり思わない」、「思わない」27 人/72.9%

・若い人が活躍できる雰囲気がある

「あまり思わない」、「思わない」28 人/75.6%

⑥能代市出身者が将来能代市に戻って住む可能性は低い P 8 8

【問 1 4】・能代市に戻る可能性「あまりない」、「ない」20 人/54.0%

3. アンケート調査結果の主なポイント

転出アンケートでは、暮らしの満足度、地域社会に関する設問において、いずれも出身者のほうが、よりネガティブな回答が多いことから、若年女性出身者の地域社会に対する不満傾向が強く見られ、女性の Uターンが進まない一因と考えられる。

地域社会、家庭、職場などで性別による役割分業の傾向が根強くあり、女性の地域に対する不満につながっているものと考えられる。中でも子育てにおいて女性の負担が大きく、少子化にも影響を与えている可能性が高い。

また、就職先の業種が限られていることに加え、賃金水準の低さや、人手不足からくる休暇取得の難しさなどの労働条件から見ても、特に若年女性を受け入れる体制として十分ではないと言える。

結婚や出産に関する意識の変化や女性の進学率の高さ、個人の意思を尊重する時代であることなどから、出生数が低い状況は当面続くものとみられる。一方で、コロナ禍の影響により結婚を遅らせた方の出産はこれからと考えられるため、数年は推移を見守りたい。